

# 令和4年度（2022年度）事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人アプカス

## 1. 事業の成果

スリランカでは、「生ゴミの堆肥化と有機農産物ブランド化を通じた零細農家の収入向上と持続可能な社会のモデルづくり事業」が9年目を迎えた。事業地であるカドゥエラ市を含むスリランカの都市部でも、他の新興国同様、生ごみ処理の問題が社会問題化しており、生ゴミの処理費用の負担による財政の悪化、ゴミによる環境汚染問題が顕在化している。当事業では、両国の専門機関と連携し、現地の気候や風土に配慮した「生ゴミの堆肥化技術」を考案、提供することにより、より効率的な有機肥料の生産を実現し、さらにその肥料を近隣農家に提供するシステムを構築すべく事業を進めている。また、当事業では、無農薬・無化学肥料栽培方法の中でも、養分やエネルギーの地域循環に着目する「循環型農業技術の普及」を行っている。活動地域をカドゥエラ市以外にも拡大し、中部州キャンディ県の冷涼な中山間地域等でも同農法による野菜や果実の栽培が開始され、自家圃場や各地の連携農家グループから収穫された無農薬野菜や加工品は、コロombo市にある当会直営の販売所「Kenko 1st」で販売されている。取扱品についても、栽培地域が複数に増えることで、野菜・果実の種類も増加し、細かなフィードバックを行うことで品質も改善してきたが、2020年3月に発生した新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、スリランカでも感染拡大期には全土でロックダウン等の感染対策が行われたため、農作物の輸送や販売についても大きな影響を受けた。そのような中でも、宅配サービスやEC販売を積極的に進め、新たな時代に対応できるよう対応を進めた。引き続きオリジナルブランドの商品ラインナップも積極的に増やし、ブランド力のさらなる向上を目指した。また、昨年度から、協力公益財団法人がケゴール県で女性や障がい者を対象に実施してきた「廃棄物のバナナファイバーを使用したクラフト商品開発事業（Musaco 事業）」を弊会事業として引継ぎ、より広範な分野で廃棄物問題の解決と循環型社会を促進する国際協力活動として展開している。

また、「視覚障がい者雇用促進のためのマッサージサロンの運営事業」も指圧院トゥサーレ・トーキング・ハンズ（TTH/西部州コロombo市）も開設から12年目を迎えた。視覚障がいを持つ指圧師のさらなる技術・サービス向上のために、2020年2月より国際協力機構（JICA）草の根協力事業による事業が開始し、日本人の専門家による現地での技術指導を行う予定であったが、コロナ感染拡大に伴う入国禁止などの影響で、2020年3月以降、日本人専門家の渡航は難しい状況が続いた。そのような中、基礎医学のテキストやカリキュラムの整備、語学トレーニングの準備を進め、2020年10月よりリモートでの訓練を再開し、本年もトレーニングを実施し、2022年4月末に無事終了した。2023年秋には延期していた日本人専門家の派遣を検討している。

「長屋再建プロジェクト」では、紅茶の名産地である中部州で、大学の建築学の専門家と共に、荒廃が進むイギリス植民地時代の「タミル人の旧紅茶プランテーション長屋」をゲストハウスとして改修し、地域住民と共に宿泊拠点として活用し、体験型ツーリズム提供による地域再活性化を目指している。今年度も、コロナ感染拡大の影響で見合わせたが、来年以降は受け入れを再開したい。

また、同地域では、生計向上支援事業として、「酪農の導入による生計向上支援事業」を継続実施している。希望世帯に対して牛銀行方式の牛の提供に加え、現地に合った酪農技術の指導を行いながら、集乳センターを活用し、酪農を地域の基幹産業に育てるべく活動を行っている。

「循環型農業・林業による地域交流促進」では、スリランカで長年実施している循環型農業や環境保全事業の知見を研究、実践すべく、日本事務所のある函館市でも、小規模ながら農作物の試験栽培

や加工、森林資源の有効活用に関する文献調査、基礎技術の指導、ネットワーク作りを行った。

「国際協力や地域開発に関する調査研究、支援情報収集と発信事業」では、国際協力や地域開発、両国で行っている各事業に関する情報の収集、大学（北海道教育大学函館校、沖縄国際大学）での講演活動を実施した。WEB (<https://apcas.org/>) についてもデザインや内容を一新し、今後の情報発信にも注力していく。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施の場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
地域開発事業	生ゴミの堆肥化と有機農産物ブランド化を通じた零細農家の収入向上と事業、および、バナナ繊維の有効利用を通じた生計向上事業	通期	スリランカ西部州コロombo県	16名	230農家 25名の女性 障がい者グループ	3,386千円
〃	視覚障がい者雇用促進のためのマッサージサロンの運営	通期	スリランカ西部州コロombo県	18名	5名の障がい 当事者とそ の家族	202千円
〃	紅茶プランテーション長屋再建プロジェクト	通期	スリランカ中部州キャンディ県	8名	80世帯	0円※
〃	酪農の導入による生計向上支援事業	通期	スリランカ中部州キャンディ県	9名	290名	0円※
〃	循環型農業・林業による地域交流促進	通期	函館市近郊 スリランカ	9名	15名	513千円
この会の活動を促進するための情報収集事業	国際協力や地域開発に関する調査研究、支援情報収集と発信事業	通期	スリランカ 日本	7名	500名	68千円

※当該年度はスリランカ側(別法人)の資金で実施しており、日本側からの直接支出はない

### (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施の場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
物品販売事業	農作物商品等の開発と販売					本年度はなし
地域開発事業(その他事業)	JICA 国際協力受託事業	通期	スリランカ 日本	8名	30名	2,423千円

※JICA 受託事業(2022年4月末に終了)は、契約規定に基づき、その他事業に分類している